

地域福祉講演会

日本の福祉制度は生活保護、高齢者介護、障害福祉、児童福祉など分野別に専門的な支援が提供されてきました。一方、近年、社会的孤立など関係性の貧困の社会課題化、ダブルケアやいわゆる 8050 問題など複合的な課題、就職氷河期世代の就職困難など雇用を通じた社会保障の機能低下などの変化が見られています。

そうした課題に対して、つながり続けることを目指すアプローチとして「伴走型支援」が有効であるとされています。

今回、先駆的な取り組みをされている秋田県の藤里町社会福祉協議会の事例を学び、みなかみ町の地域づくりに活かすことを目的に講演会を開催します。

日時 令和 2 年 2 月 2 1 日 (金) 午前 1 0 時から

**場所 みなかみ町保健福祉センター 1 階 健診室
(月夜野 1 1 8 番地)**

『福祉でまちづくり
～引きこもり支援からみえた地域づくりの可能性～

講師 秋田県 藤里町社会福祉協議会
会長 菊池 まゆみ 氏

著書 『「藤里方式が止まらない」(弱小社協が
始めたひきこもり支援が日本を変える可能性?)』
(2015 年 萌書房) 他

- ◆ 対象 保健福祉関係者、その他関心のある方
- ◆ 申込は不要です。直接会場にお越しください。



主催：社会福祉法人みなかみ町社会福祉協議会

共催：みなかみ町社会福祉法人等連絡会

事務局・問い合わせ先 みなかみ町社会福祉協議会 (電話 62-0081) 担当：佐藤